

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域でつなぐ防災力アップ	
事業主体 (連絡先)	生坂村 0263-69-3070	
事業区分	主となる区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
	関連する区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	☑ / ハード / ソフト・ハード (該当項目に○印を記入)	
総事業費	486,535円 (うち支援金: 363,000円)	

事業内容

(家具転倒防止実演講習会)

災害時自宅で被災しないための講演会を開き、正しい家具転倒防止の設置方法を受講した。その後防災力を高めるために次の取り組みを行った。



- 「自宅の防災講演会」を開催し、受講後、梅月地区と保育園保護者に家具転倒防止品など(3品)を配布する。「我が家」の防災をさぐっていく
- 配布物設置後アンケート調査(追跡調査)をする
調査結果を取りまとめ村側に提供・提案をする
- 梅月地区避難訓練
 - ・崩れた家屋の中からレスキューキッドやリヤカーを使って人名を救助する方法を学ぶ
 - ・日赤職員を招き、老人が避難所でどう過ごしたらいいかや最低限の準備品、注意点を学ぶ
- 干し芋作り・地域の方や中学生と一緒に交流し干し芋を作った
- 日赤病院に出向き、幼児安全講習会で怪我や事故の対応を保育士が学び、保護者に伝えた

事業効果

※1 自己評価 (事業実施率) 【A】

○避難所に避難する前に自宅での被災が多いことを講演会で知り、自宅の防災を見直すきっかけとなる
また、アンケート調査を行うことで、お年寄りだけのお宅は、自宅の防災に限りがあることがわかった
反省会では梅月常会でサポートしていく必要があるという意見が出る。地域防災力を高めていく波及効果が出てきた。(回収率100%で関心は高い)

【目標・ねらい】

- 自宅の危険個所に気付く
- 地域全体で防災力を高めていく
- 家族構成での防災の違いをまとめて村側に提供する

○土砂災害を想定した救助の方法は、崩落しやすい場所(梅月地区)を想定し、レスキュー用品を使って怪我人を救助し、リヤカーで運ぶ方法など学んだ。組織構成を再確認した。
○アンケート結果から出た内容を取りまとめ、常会長と村長に届け出た。その結果、「村の中でも自主防災訓練内容に差がある」という意見から、区長会などで地区の情報交換をしていたらどうかなど提案した。
○日赤の「高齢者災害講習会」では高齢者の方が積極的に質問したり実習したりする姿がみられ、「ここに避難してくれば安心」と隣同士で話している様子うかがえた。

今後の取り組み

※2 自己評価 (事業効果) 【B】

- ・要援護者の救出救護の体制の整備と、初動マニュアルの充実を図り、地区民の誰が責任者(常会長)になっても対応できるように毎年繰り返し訓練をしていく
- ・これからも防災訓練を続けていきたいという地区民の意見から、更に防災力を高め村内にも発信していきたい